

全国制覇に向けて

第60回全道高等学校体育大会ボクシング競技が6月15日に札幌市北区体育館で開催され、追分高校3年生の山口隼人選手がフライ級で優勝しました。春の全国選抜大会では一階級上のバンタム級で準優勝した山口選手ですが、本来のフライ級に戻り全道チャンピオンになりました。

「小学4年生のとき、テレビでムエタイという格闘技を観て千歳のジムに通い始め、左ボディフックが得意です」と

話す山口選手。全道大会では至近距離から連打を浴びせ、

1回戦は1ラウンド32秒で相手からスタンディングダウンを奪いレフリーストップで快勝し、決勝戦も着実にポイントを重ね栄冠を獲得しました。7月29日から佐賀県で行なわれる全国高校総体に向けて厳しい練習を積んでいます。

現在、身長163センチで体重53キログラムで減量が課題。一度に2個の弁当を食べるほどの大食漢も全国制覇するまでは我慢しているとのことでした。



優勝のトロフィーと楯を持って

合併1周年記念コンサート

昨年3月に安平町が誕生して1年を迎えたのを記念してN響の演奏家を招いて6月23日にコンサートが行なわれ、早来町民センターには約250人が集まりました。町内の2つの女性コーラスも合同で合唱を行い、美しいハーモニーの歌声が場内に流れていました。



早来地区で活躍している「コーラス ドルチェ」と追分地区の合唱サークル「ひまわりコーラス」の皆さん



おいしい新米を願って
5月28日 遠浅小学校の児童が農家の土地を借りて田植えを体験しました。秋にはおいしいお米を収穫し、みんなで食べる予定です。子供たちはおいしい新米ができるように願って一本一本丁寧に苗を植えていました。

集めたごみはトラック1台分

5月25日 追分地区土砂生産協議会が町道に捨てられた空きカンやごみの回収を行いました。

この取り組みは毎年実施しており、今回参加した企業は15団体で総勢24名でした。土砂の運搬で日ごろ利用している道路や側溝に放置されたごみを収集。昨年より少ない量でしたが、4トンの積みトラックで1台分にもなりました。同協議会では、道路の維持管理費の一部に使ってくださいと今年も町にお金を寄付しました。



道路の維持管理の費用として町に寄付する協議会の皆さん(写真上)と回収作業風景